

ひろしま社会教育人



〈社会教育主事講習を受講した動機〉

受講の大きな動機となったのは、コミュニティ・スクールについて学びたいという思いでした。忙しい中、新しい取り組みを入れるためには、地域も学校もプラスになることでないと続かない。学校運営協議会を仕組みとして形だけ整えるのではなく、真に意味ある組織とするために、まず自らがその理念と仕組みを深く理解することが不可欠であると考えました。管理職となってから、地域や公民館と連携する場面が増える中、講習ではNP0や公民館等で活躍している方々と交流し、つながりを築く意義を実感しました。この経験を通じて、コミュニティ・スクールへの理解は一層深まり、解像度が上がったと感じています。

〈社会教育主事（社会教育士）として取り組んでいること〉

かつて校長として勤務した尾道市立因島南中学校においては、公民館長をはじめとする地域の方々の御尽力により、地域人材の御紹介や学校と地域を結ぶ橋渡しをしていただきました。学習発表会には地域の皆様をお招きし、敬老会には生徒が参加するなど、相互交流が行われていました。また、コロナ禍で物品調達が困難な折にも、学校設備の御協力をいただくなど、地域にはパートナーとして、生徒の学びをともに支えていただきました。

現在勤務している尾道市立日比崎中学校では、「日比崎サバイバルプロジェクト」と題した防災教育を総合的な学習の時間に行っています。学校運営協議会委員から御意見をいただきながら、生徒自らが学習内容を構想していきます。また、自衛隊や赤十字職員、災害派遣された尾道市職員を講師にお招きし、地域と学校が一体となって学びを築いています。こうした取り組みを通して、生徒が将来、災害時に主体的に行動し、互いに支え合える「地域の担い手」として成長していくことを大いに期待しています。

〈経歴〉

平成5年度～平成17年度
福山市内中学校 社会科教諭
平成18年度～平成28年度
尾道市内中学校 社会科教諭
平成29年度～令和元年度
尾道市内中学校 教頭
令和2年～
尾道市立因島南中学校 校長
因島南中学校勤務時、社会教育主事講習受講
現任
尾道市立日比崎中学校 校長



人とのつながりを
大切にして

小土井 道夫

尾道市立日比崎中学校 校長

〈今後に向けて〉

日頃から地域と学校が深くつながっていることこそ、コミュニティ・スクールにおいて最も大切なことであると考えています。

こうしたつながりが、地域と学校が力を合わせ、ともに生徒たちを支えていく基盤となるはずです。

今後も地域への関心を高め、地域の皆様との結びつきを更に豊かにしていくことで、新たな取り組みへの機会創出につなげていきたいと思っています。



#つながり
#コミュニティ・スクール
#防災
#地域と学校